

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

2020年 8月 25日作成 第 1 版

研究課題名	抜去歯を用いた模擬治療で発生する飛沫・エアロゾルに関するモニタリング実験
研究の対象	2020年8月1日～承認日の間に、当院で抜歯治療を受けられた患者さん。
研究目的 ・方法	日常診療で患者さんより頂いた抜去歯を用いて模擬歯科治療を行います。その際発生した飛沫・エアロゾルを特殊な装置で撮影します。またその際の環境調査も行います。これにより歯科・口腔外科治療の際にどのような感染対策をするべきか明確にしていけることが目的です。
研究期間	西暦 2020年 10月 29日 ～ 西暦 2022年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	外来で抜歯治療の際に回収・冷凍保存された抜去歯 患者さん個人の情報は収集しません。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>本研究で用いる抜去歯は、個人を特定することができないように保管されています。そのため拒否の連絡をいただいた場合も特定することができず、データから除くことができないことをご了承ください。</p>	
<p>問合せ先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 歯科・口腔外科・矯正歯科 （研究責任者）大屋 貴志 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-785-8438</p>	